

日本保育學會第五回大會開催案内

一、日 時 昭和二十七年五月二十五日(日)午前九時より午後四時まで
 二、會 場 名古屋市立保育専門学園講堂(昭和区白金町三ノ一、中央社会館内都電東郊通三丁目下車)

開 会 の 辞

倉 橋 惣 三

第二部 研究發表表

(午前九時——午後二時)

- 一、幼児の性格觀察
- 二、音符遊びについて
- 三、保育に於ける童話の使命
- 四、幼児の音楽経験に於ける環境より受ける機制について
- 五、幼児の間食に関する調査
- 六、幼児の神経症について
- 七、名古屋市中に於ける幼児(三才—五才)の
 身体充実度及び栄養状態の調査
- 八、幼稚園に於ける「社会」について
- 九、手先の訓練について
- 一〇、北陸の一地区で幼児教育はどのように理解されているか
- 一一、今後の幼稚園・保育所の歯科衛生はどうあるべきか
- 一二、問題児事例研究
- 一三、特殊幼児の觀察について
- 一四、幼児の言語教育について
- 一五、齒列の不正をおこす種々なる不良習癖について

愛育研究所	竹 田 俊 雄
兵庫県高砂町信愛幼児園	小 木 曾 光
泉大津市日本幼児教育研究所	砥 上 種 一
愛知学藝大学	水 野 久 一
愛育醫學研究会	砂 田 英 惠
愛育研究所	平 井 信 義
名古屋市立保育専門学園	珠 川 善 信
愛知学藝大学	鈴 木 内 親
千葉大学教育学部	宮 内 孝 吉
名古屋市 みちる幼稚園	峯 親 草
高田市 北本町保育園	根 岸 草
愛育醫學研究会	深 田 英
京都市児童院 付属保育所	坂 本 幸 貞
神戸幼稚園	樋 口 幸 貞
愛育醫學研究会	内 山 憲 貞
	深 田 文 郎
	梶 原 文 郎

第二部 総 會 (午後〇時三十分—一時)

第三部 シンポジウム 『幼稚園と保育所をどう考えるか』 (午後二時—四時)

司 会 山下俊郎

一、教育行政の立場から 文部省初等教育課長 大島文義

二、教育者の立場から 愛知県豊田市西小学校 筑紫孝一

三、厚生行政の立場から 厚生省保育課長 吉見静江

四、厚生事業の立場から 日本社会事業短期大学 小宮山主計

五、保育学の立場から 立教大学 森脇要

閉 会 の 辞 小川正通

○発表時間は一人十二分以内、質疑応答三分、計十五分以内、なお発表者は当日発表後その原稿(四百字詰十枚程度)を必ず提出されたい。

○当日本年度会費として正会員は百円、準会員は五十円を納められたい(本年四月以降納入済の方は不要)

○従来会員でなく当日出席された方は正会員又は準会員として加入されたい。

○宿泊希望の方には旅館の斡旋をいたしますから、五月十五日までに公共施設か普通旅館の別・宿泊日程・住所・氏名・性・年令等を明記して準備委員会(名古屋市中東大幸町一愛知学芸大学内)宛申込まれたい。

東京都港区麻布盛岡町一

愛育研究所内

日本保育學會